

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を基に日々のミーティングで話をおこなっているが、解釈には職員にも差があるケースもある為、ミーティングを通して理念を中心としたケアや考え方について、職員同士、共に考える時間をつくっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、地域資源シートを作成し、知れた情報は記入を行いチームで把握に努めている。 本人や家族へのヒアリングなどで、個人の地域での生活実態や過去の生活の様子を知るようにしていきたい。	以前は地域の事業に参加する機会が多かったが、利用者さんの高齢化により参加出来るような体力のある利用者さんが少なくなってきた。状況に合わせてながら行事に参加出来ないないか「見方」「やり方」を考えてみる必要がある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で状況報告をさせて頂く中で、利用者の活動参加や、地域との関わり、ふるさと母里を知って頂く為の取り組みについての意見交換を、新たな取り組みに活かす事が出来た。	活動する上で外に出かける機会が多い部所であるが、利用者さんによる活動参加や地域との関わりと言う観点から見るとまだ不十分な点があると思う。今後、会議を開催する中で、不十分な点について話し合いを行ない、サービス向上に活かしていく必要がある。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	文化祭へ参加し、小規模の利用者様がつくられた作品を見て頂き取り組みを知って頂く機会となった。小規模多機能だけでは支援を行う事に限界のあるご利用者様(独居・生活保護)には、福祉課に情報共有を行い生活の質が保てるように取り組んでいる。	何かあれば電話をさせて頂いており、事があれば相談する様にしています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全体はあきらかな身体拘束は共通認識をもって対応が行えている。 安全面からのグレーゾーンの課題が話し合いの中心となっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんの一部の方が一時的に玄関から外に出たいと言うことで鍵を掛けることもあるが、出来るだけ鍵を掛けない方向で対応している。 職員との話し合いの中でよく出てくる議

				安全に配慮できるように、一時的に玄関の施錠を行う事があった。施設研修を行いご利用者様の思いに向き合い、身体拘束のないケアを実施出来ている。			題であり難しい所もありますが、「ほぼ出来ている」と思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設研修を行い学ぶ機会を設けている。チーム内でもお互いに小さな気づきを議題として取り上げる事が出来ている。今後は施設外、家族の悩みに対しての働きかけも行っていきたい。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	困られた時として研修・勉強会を実施する場合、包括支援センターの社会福祉施設を外部研修と言う形で活用するののも一つの方法があります。無料ですので、一度相談され活用して下さい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は言語的な意思表示が出来ない利用者には相手の気持ちになって行動する事はできている。具体的な制度については、知識の差があり共有できているとはいいがたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	十分な説明を丁寧に行うよう心掛けている。不安や疑問点に早く気づけるよう、日頃から家族との情報共有を小まめに実施している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱の設置 日頃から、家族とは小まめに情報共有を行っており、意見や要望を伺う機会はある。 また、意見や要望があった場合、内容を共有してサービスや運営に反映させている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者さんの意見を反映できるよう家族の方と細かく連絡を取るようしております。 次年度の事業計画の中で前向きに取り組んでいます。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ミーティングや会議の活用で、意見や提案を聞く機会を設けている。 運営会議を活用し、意見共有と反映に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別面談の実施 個別目標の設定 個々のやりがいに繋がるよう目標設定を行い、役割に応じた働きに繋がるよう計画、実施を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	半年に1回もしくは毎月とか臨機応変に面接を実施している。その中で、就業条件等について見直しおよび話し合いにより目標設定を行っております。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各研修については参加の機会を持ち知識の共有につながっている。 職場内研修の実施 キャリアコンサルタントの導入 権利擁護研修 研修以外に、個々の得意分野を任せる事で本人の能力を伸ばす機会をつくっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修や内部研修のほか個々のトレーニング教育研修や新人研修も併せて実施している。全員に繋げて行くと言う意味でも、内部研修だけだと狭い話しになってしまいがちですが、外部の方から意見を聞いたり、相談できることにより視野が広がり十分な効果がある。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修への参加は実施できた。 R5年度は、積極的な同業者との交流やネットワーク作りは実施できなかった。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の個々の能力を理解して、支援提供に繋げる事を心掛けている。また、信頼関係を気づけるようにご利用者の思いを大切にしている。ご利用者の行動や思いをケアに生かす事は出来ているので、本人へのヒアリングの機会を増やしていけるとよい。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの人や思い出の場所の話を伺い、感染対策を行った上で可能な範囲での外出支援を行っている。実際に出かける事が難しい場所でも写真や映像などの資料を見ながらお話などで思いを引き出す事は出来た。	馴染みの人や場所との関わりの希望があった場合、コロナの関係で外に出る機会は少なかった。それに対する代わりの対策として近場の風景や写真とかの映像を見ていただく事によって喜んで貰うことが出来た。このモニター操作による対応は本当に良かった。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の過ごし方は(趣味、食の好み、家事、運動など)は、日々の会話の中から思いや意見を聞き、記録に残し職員間で情報を共有し自分らしい暮らしが出来るケアに繋げている。 施設外の様子については、家族や利用者へのヒアリングを小まめに行い			

				チーム内での共有に努めていきたい。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングで日々の様子、気づきを共有しよりよいケアに繋げていける様に話し合いを行っている。 チームでカンファレンスを行い、介護計画を作成出来ている。更に、本人からの思いを大切にしたい聞き取りの機会を増やしていきたい。	日々のミーティングの中で情報を共有し、カンファレンスを行い話し合いをする中でモニタリングを実施している。 全職員の意見や考えが反映されるよう意識しながら取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何事にも前向きに改善に向けて話し合いが行われ対応しておられ大変良いと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子が分かるように個別記録への記入は行っている。また、チームで共有すべきことや気づきが日々のケアに活かされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の業務に活かすことが出来るようミーティングの中で話し合いが行われている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当日の急な泊りへの変更も対応をスムーズに行う事が出来ている。 通いの迎え時、気持ちが進まず外出困難なご利用者様への対応として、時間を空けて再度お迎えに伺うなど、柔軟な対応を行い、通いサービスに繋げている。 日中、お一人になるご利用者について、安否確認を行い、家族の心配に対しては情報共有を小まめに行っている。	小規模では、急な泊りの対応もしており、また利用者さんを迎えに行ってもご本人の都合で行かれない場合もう一度お迎えに伺ったり、通いに出て貰ったりしております。 その他、安否確認と言う場合も電話で確認したり訪問したりして利用者ご本人の状況に合わせながら柔軟に対応している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活インフラ(買い物、散髪など)に対しては、ある程度出来ている。 自宅での生活についての問題は把握出来ている事もあるが、地域資源と結びつけられていない事もある。 現在、個々の利用者の地域資源の情報収集を行っている。	地域資源と言うものが何か、何が人にとって地域資源になるかということなど、今年度は色々勉強しております。 次年度に繋がるよう考えて行きます。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医と事業所の関係を気づき、特変時の対応、相談を行う事が出来ている。			

				家族との受診予定や内容の共有は出来ている。 こちらからの利用者の情報提供(体調や心理行動、認知など)も作成し連携が図れている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療、家族との情報共有は出来ている。 職員間の情報共有も速やかに行われている。 退院前のカンファレンスも十分に行い、退院後からの利用が、安心してご利用頂けるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関は利用することが結構あり情報の共有も出来ている。退院時に受け入れが難しい時にはコスモスさんに相談するなど、利用者さんと家族の方が困られないようにしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意向の確認、良い面だけではなく、丁寧な説明を心掛けている。 家族にも、日々の様子や変化を伝え、チームで情報共有を行い重度化に向けての対応に取り組んでいる。 利用者に対して、何も無いときから、どう生きたいか(望む)などの話や発言を家族へ繋いでいけるか課題。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時には必ず書面と口頭で説明している。 その都度、「こう言う状況ですがどうでしょうか」と状況報告する中で職員と連携を図りながら事業所として十分説明するように努めている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は行われているが、実際に実践できるか(AED、心臓マッサージなど)は別であり、実践力をどう増やしていくか課題。 急変時の観察として専用のシートがあり、誰でも同じような観察が行えるよう取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルのみ見直しや、定期的な法定訓練は実施されている。 職員のマニュアル理解や即座についても対応が実施出来ている。	年2回避難訓練をしている。その都度、シミュレーションを描きながら実施している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との協力体制を築きながら対応している。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の人格を尊重して対応を心掛けている。 利用者の心情や状況に合わせた言葉かけを実践に繋げていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、権利擁護の研修を受けております。毎回1名の職員が参加するようにしており、研修した内容を内部研修として全職員に還元するなど全員に意識付けを行っている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が利用者に意向確認をし、介助を進めている。 体調や気分を考慮してレクリエーション、入浴を行っている。 本人の思いと家族の思いに隔たりがある場合に悩むケースあり。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事食や季節食など、利用者の声を反映させて一緒に食事作りや、おやつ作りを行っている。 食事状態の観察と情報共有を行い、多職種と連携を図っている。 利用者も調理に参加して頂き、個々の出来る事が行えるよう働きかけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人員不足で手作りの食事と言うものが難しい状況ではありますが、それでも良い所で楽しむ行事食と言うものを企画しています。利用者も一緒に参加して貰い喜んで頂いている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の食事摂取の状態観察を行い変化の情報共有を行っている。 食事状態の確認を通して必要な形態に合わせている。 1日を通して食事、水分摂取量の悪い場合やムセなどが見られる場合、職員間で共有して経過観察に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアの実施。 出来るだけ自身の力で出来るよう関わらせて頂き補えるところのケアを行っている。状態に変化がある場合、家族へも連絡し病院受診へと繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当たり前のルールとして、食事が終わったらお部屋に帰って口腔内のケアを食事と併せて支援している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オムツは使用を制限(夜間)して利用者の歩行能力を活かしている。 排泄の声掛け、排尿チェック表を用いて個々に合わせたタイミングでの対応を行えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のことは、施設として切り離すことが出来ない支援となっている。 都度、ミーティングにより情報を共有しながら取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時の体調管理、本人の気持ちを配慮して入浴を行っている。 季節により、ゆず湯などを提供している。			

				本人の体調により、入浴出来ない場合、清拭や足浴などで保清を保っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入眠時間に関しては自身で居室へ行かれる方、リビングでテレビを見て過ごされる方、個々に合わせた対応が行えている。 日中の通いの際も、健康観察を行っており体調不良の方には休息できる場を提供している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の管理は看護職が行っているが、薬の変更等の情報を共有し服薬支援に繋げている。 職員の薬の知識は十分とは言えないので、都度、最新の薬情報の確認に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	配薬の支援も職員がしており、これほどの様な薬かということも必ず確認して対応している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の思い出の話を伺い、利用者様の「行きたい」を計画し支援に繋げる事が出来た。 利用者から、声を聴き、好きな物を選んで頂く機会や、昔ながらの風習を支援に取り入れている。	ミーティングの中でこの利用者の人ほどの様に対応したら良いか等の話し合いを行って対応している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の変化を感じて頂ける様に外出支援を行っている。又、本人の思い出の場所、馴染みのある場所へも出かける機会を設けている。 計画した事に対し、利用者の気持ちが変わる事もある、その場合は日程変更するなど柔軟な対応を実施できている。	季節の変化を感じて貰うよう外出支援を行っている。本人の思い出場所や馴染みの場所へ出掛ける機会は、少ないながらも家族の方と相談しながら出かけるよう支援している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅生活を行っている方には、自宅での暮らしの継続に繋がるよう、必要な買い物支援の提供を行っている。 又、希望があった物が購入出来るようにお小遣いの預かりを行い、対応を行っている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>家族との連絡がとれる様にケアを繋げている。</p> <p>本人希望があった場合、電話や手紙での対応を行っている。</p> <p>毎月、家族に生活の様子をお送りして利用者の声や言葉にならない部分の代弁として届けている。</p>			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>退院後など身体能力を考慮した居室環境の対応を行っている。自宅の環境と居宅の環境を可能な限りご利用者の状態に合わせる事ができた。利用者の季節感の意見、イメージを伺いながら一緒に作成した物をリビングの壁に飾ることで四季を感じて頂けるように取り組んでいる。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>環境委員を設けて定期的にリビング内の環境について点検し、職員に意見を聞き取りながら改善に向けて取り組んでいる。</p>
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ふるさと母里を利用される事で、個々の役割や活動、利用者同士の関わりなど、一人一人に合わせた関わりに努めている。</p> <p>体調や気持ちに配慮した対応は実施できている。</p> <p>日々の暮らしの意向に沿う為に、自身で言葉で伝えられない方もいらっしゃるので、利用者個々の生活歴を知る機会を増やしていきたい。</p>			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>集団生活に関すること(食事、入浴、午睡)などについては、自宅での生活リズムと違う場面もある。</p> <p>個々の利用者の習慣や、こだわりなどは、可能な範囲、対応に繋げている。</p> <p>以前は行う事が出来ていたが、一人の為、料理する機会がなくなった料理なども、支援を通して行う事が出来ている。また、以前行っていた事</p>			

				が、出来る事により喜びや自信に繋がる機会にもなっている。 独居や、近所との関係性が少なく、他者とコミュニケーションを図る機会に限りがある利用者も、通いに出かけ他者とコミュニケーションを図り、社会性を保つ機会にもなっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の様子、表情、体調を観察し変化にいち早く気づき家族、医療との連携はとれている。 安全面も施設、自宅の様子の共有もできている(転倒や問題行動など) 通いや泊りサービスのご利用でない利用者にも、訪問や電話など、柔軟な対応を提供している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングで細かく利用者さんの様子について情報を共有しながら確認・対応している。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や本人より自宅での生活や活動の様子を伺い、可能な限りこれまでの暮らしに近づけられるよう工夫しながら対応を行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅にて自身で作成された、油絵など持って来られ飾って頂けるよう場所をつくっている。 自宅で習慣として行われている(コラムや社説)を行って頂けるよう環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんが馴染みの物、大切にしている物を身近に持つことが出来るような環境を整えている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に思いを聞く事は出来ているが、大勢の方が集まる場所への参加は出来ない。	利用者さんの思いを聞きながら出来る範囲でさせて頂いております。以前と同様な大勢の方が集まる場所への参加が出来る環境にはなっていない。状況をみながら利用者さんの思いが繋がるよう支援している。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の支援を本人の出来る力を活用し支援している。本人に出来る事、出来なければ見て楽しむ事を職員と共有する(取り残されない) 出来る喜びや自信に繋がるような支援を大切に行っている。			

47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者が、自己決定が行えるような関わりや、声掛けを、大切に支援を行っている。  主体的に参加されない方に対して、声掛けや対応については、職員のアプローチによって、思いを伺う機会や活動への参加へ繋げられるよう努めていきたい。</p>	/	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>毎月の行事や日々の体操などを行わない、利用者さんの笑顔が見られるよう支援している  結果として、実際に良い笑顔が見られている。</p>
48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている  B. ほぼできている  <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者自身が地域の方と関わり、交流する機会は少ないが、独居の生活の方は、地域(町内)の方から見守り支援がある事で、継続した自宅での生活に繋がっておられる利用者もあり。</p>	<p>外部の方と交流することが出来ていない部分があり「あまり出来ていない」との評価である。  利用者さん本人が地域の方と関わる事が継続して出来るようになると思います。このバランスが崩れてくると中々自分の生活と言うものが見えなくなる事もあるので、継続的に利用者さんと話し合うことで利用者さんの満足度を確認することが必要であると思います。</p>	/	/
49、	総合	<p>本人は、この小規模多機能サービスにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>日々の利用者の顔が違う所も、刺激になり、今日は出会えてよかったと声が聞かれる。  人間関係(社会性)を保つ場でもあり、出かけられる際には、身だしなみや、準備を行う機会にもなっている。  利用者同士、顔は覚えておられても、名前をしられないなど、特定の利用者同士のみ関係性になる傾向もあるので、安心できる関係性や関わりを、職員が利用者同士の間に入り、コミュニケーションが円滑に行えるよう支援を行う事は重要な役割となる。</p>	<p>日々、利用者さんがこの施設に来て色々な人と出会うことが刺激になって、「今日出会えて良かった」と言う声が聞かれています。  人間関係を構築したり、社会性を保っていく場でもあるので、職員が一生懸命になって利用者さんの間に入り満足して頂けるよう引き続き支援を行っていきたく。</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者さんの満足度と言うところでモニタリングにより職員が聞き取りする中で実際のサービスや対応の様子等について確認チェックさせて頂いております。  サービスに不足なところがあれば改善しますし、それが必要なサービスなのかどうかも含めて担当者会議により話し合いを実施しております。  新たなプランに基づき、今後の活動に活かして行きたいと考えております。</p>